

岡山城西の丸周辺広場・石山公園 整備及び管理運営事業 実施方針等の説明会

事業の概要 (検討状況：設計)

令和8年1月時点

岡山市 都市整備局 都市・交通部 庭園都市推進課

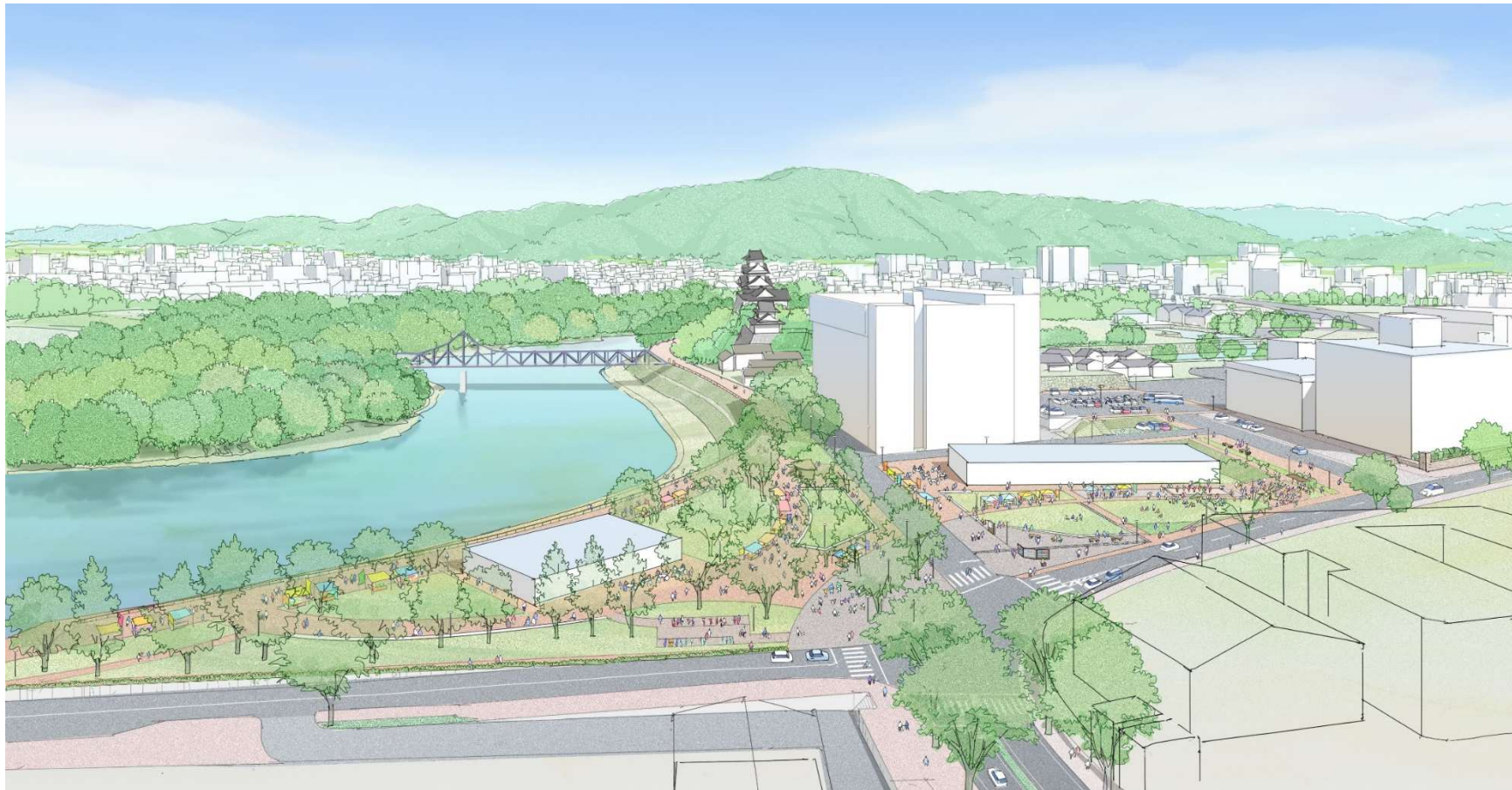
株式会社オリエンタルコンサルタンツ

「岡山城西の丸周辺広場ほか管理・運営事業者選定支援業務委託」受託業者

1. 全体コンセプト

歴史を感じる 憩いの広場

- 市民や観光客、こどもから大人まで、様々な人が歴史を感じながら、憩い、楽しめる自由度の高い広場を目指します。



※建物は最大規模を想定して表現しています。
※民間事業者の提案によって、変更になる可能性があります。
※近景と眺望のイメージパースを現在作成中です。

2. 各エリアコンセプト

➤ 各エリアコンセプトは以下のとおりです。



北エリア

旭川河畔や既存樹木を活かした、憩いをもたらす水と緑の場

- 岡山城・後樂園へのエントランス空間・メイン動線となるとともに、既存樹木や新たな植栽の木陰のもと旭川や岡山城を眺めながら、のびやかな芝生広場やベンチで憩い楽しめる空間とします。

中エリア

様々な人が活動・交流できる賑わいの場

- イベントなど多様な使い方に応える舗装広場・芝生広場が、高低差を活かした段々ベンチやステージを備えた建築物と相まって賑わいや都市活力を創出する空間とします。

東エリア

岡山城天守閣への景観に配慮した駐車場

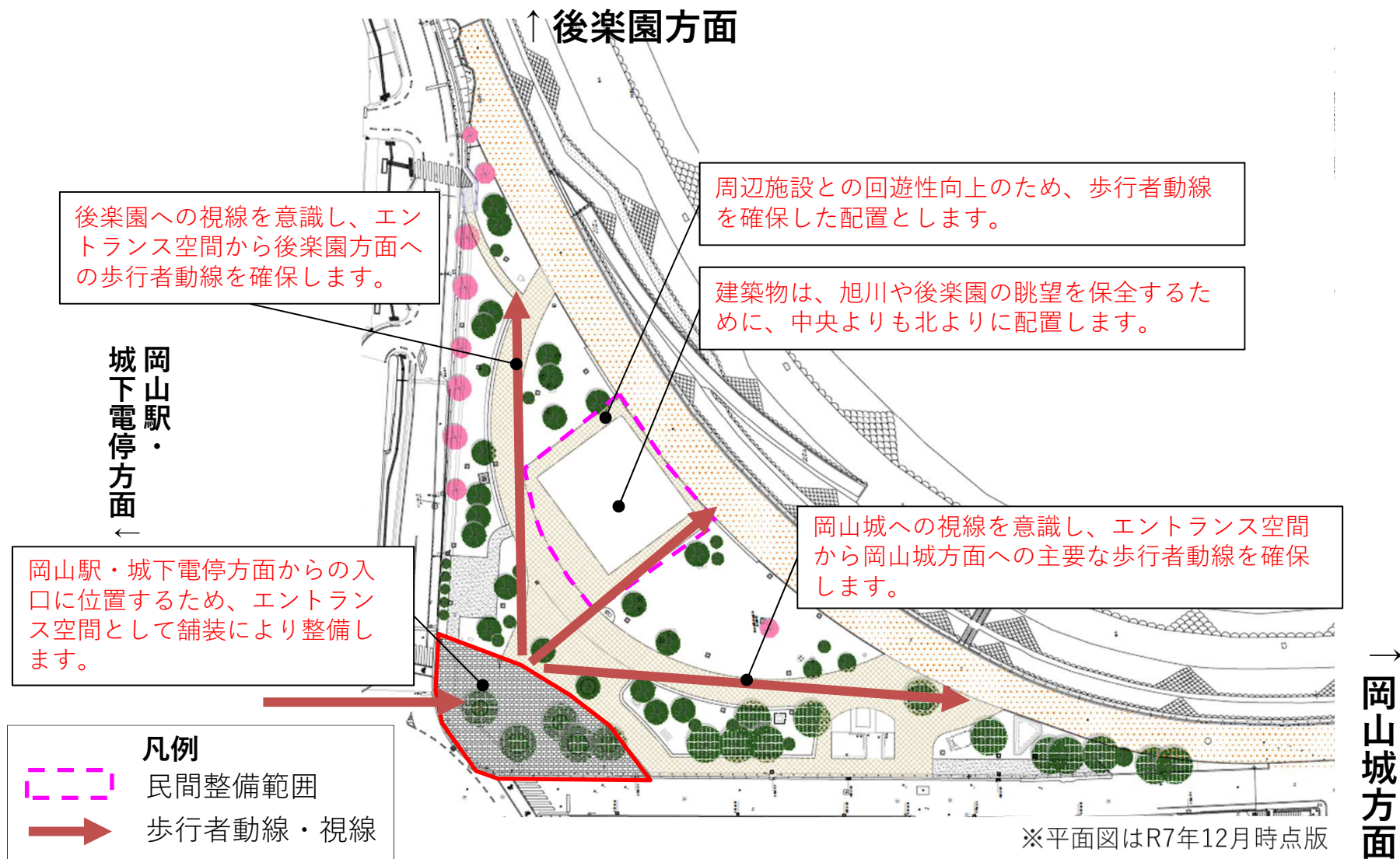
- 烏城みちから岡山城天守閣への景観を配慮した駐車場とします。
※Park-PFIによる民間事業者整備及び運営
(一般利用者駐車場の駐車場設備は必須提案)

※平面図はR7年12月時点版

3. 北エリア：設計内容

(1) 平面レイアウトの考え方

- 北エリアは岡山城、後樂園への動線上に位置することから、眺望を意識した歩行者動線を確保します。



3. 北エリア：設計内容

(2) 整備する施設について

➤ 整備する施設は以下のとおりです。

○：スツール
木陰での憩いの場を創出するため、スツールを配置します。

高さが低い旭川沿いの転落防止柵は、安全な高さを確保しつつ、後楽園・旭川の景観に配慮した透過性や、幅広手すりの利便性の高いものを整備します。

<整備後イメージ>



※坂路は開口部を設けます。

<検討案>

200mm/100mm幅の
再生木材トッブレル

一部幅広のトッブレルで
眺望を楽しむ視点を形成

透過性を高める形状・
寸法により眺望を確保

ステンレスワイヤー

傾斜のついた
フラットバー支柱

フットライト

路面の明るさを確保

SGメッキ+リン酸処理で、風景に
なじむ色でメンテナンスフリーに

転落防止柵イメージ

ももちゃりスペース

民間整備範囲

岡山城・後楽園・旭川を眺望する
ベンチを整備します。

事業者利用を想定した将来用給水・
汚水管等を、市で先行整備します。



コンクリートベンチ
イメージ

日常時、イベント時を問わず、人
が滞留できるコンクリートベンチ
を整備します。

落とし込みの車止めとすることで、
様々なイベントに対応します。

駐輪スペース

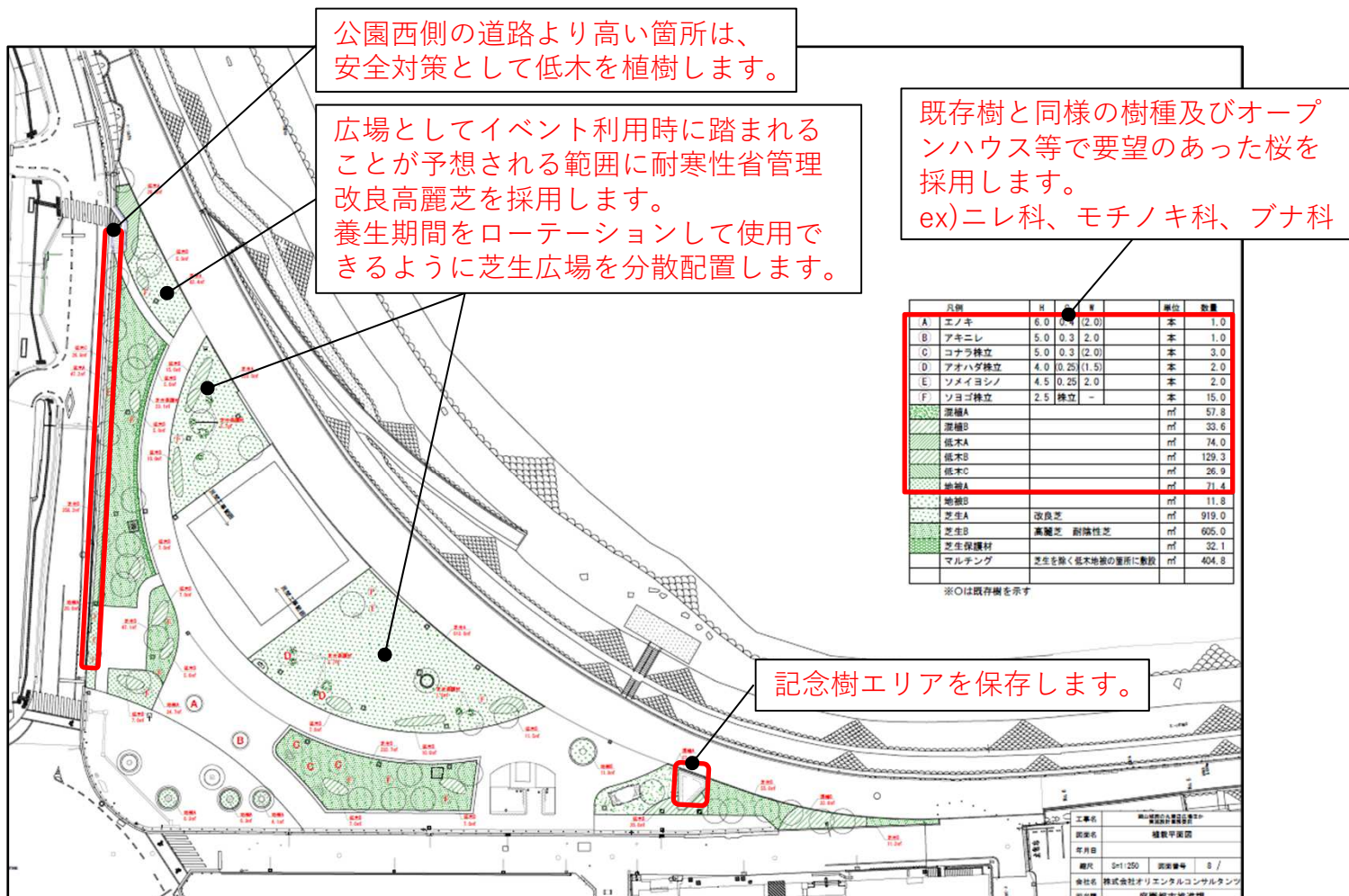
※平面図はR7年12月時点版

3. 北エリア：設計内容

(※民間整備範囲の設計内容なし)

(3) 植栽の考え方：植栽平面図

- イベント利用を阻害しない位置に既存樹と同様の樹種の樹木を植え、イベント利用に適した芝生広場とします。
- 広場としてイベント利用時に高い踏圧がかかると予想される範囲に耐寒性省管理改良高麗芝を採用し、イベント利用がないと想定される範囲に上記以外の芝を採用します。



3. 北エリア：設計内容

(4) 舗装の考え方

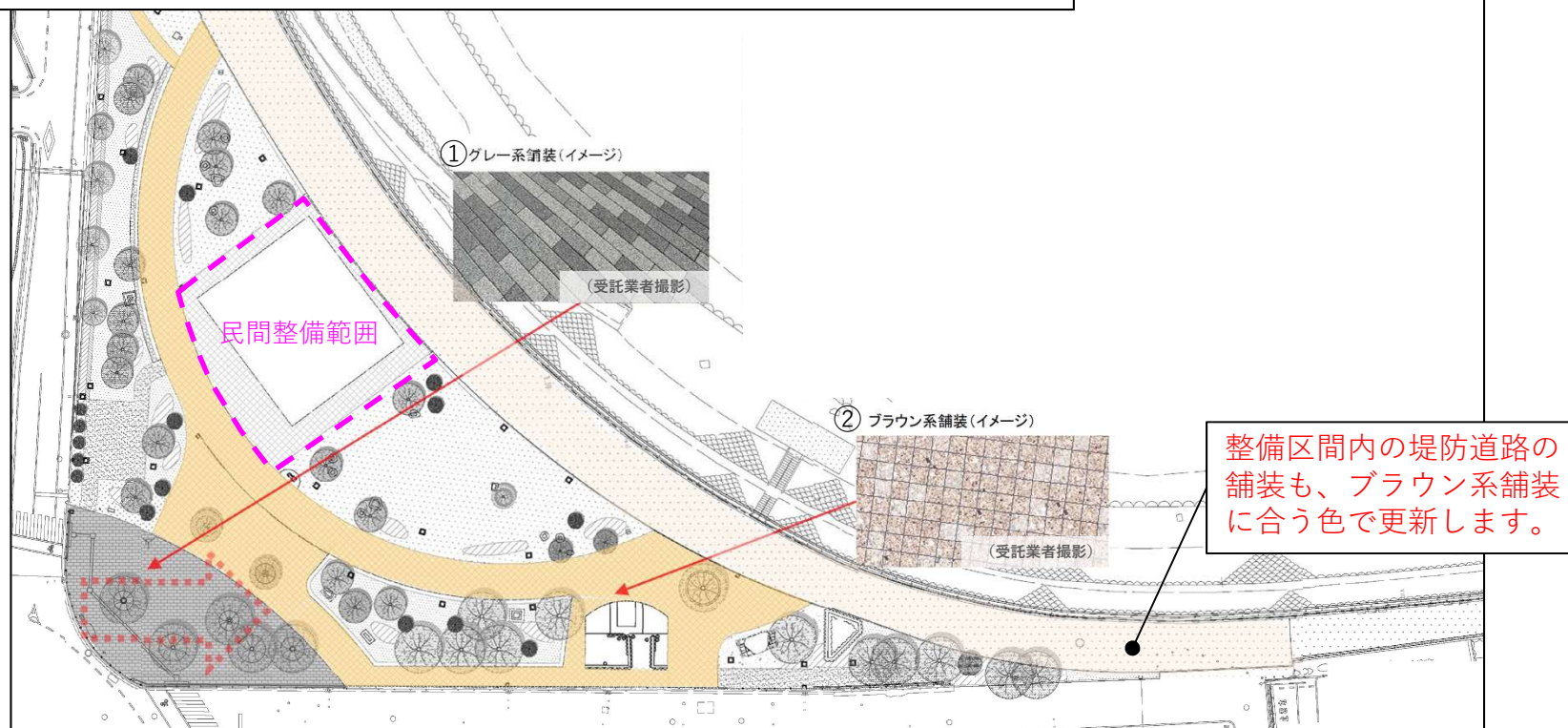
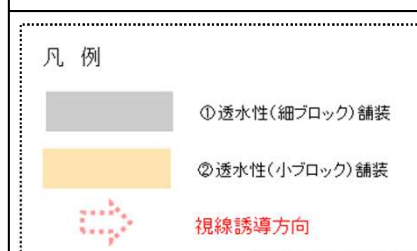
- 景観や維持管理性に加え、歩行性にも配慮した材料により、舗装を整備します。
- 雨水流出抑制対策のため、透水性舗装で整備します。（民間整備範囲外構部も同様の対応が必要です。）

本計画では、動線誘導と空間特性の明確化を目的に、長手部材と四角部材の舗装をエリアごとに使い分けを行いました。

①エントランス部は、園内への流れを生み出し、都市景観としての方向性を示すため、ライン性のあるグレー系の長尺舗装を採用しました。

②広場・園路は、方向性を持たせず自由な利用が可能となるよう、正方形の舗装とし、やわらかい印象を演出するためブラウン系（自然系舗装）を採用しました。

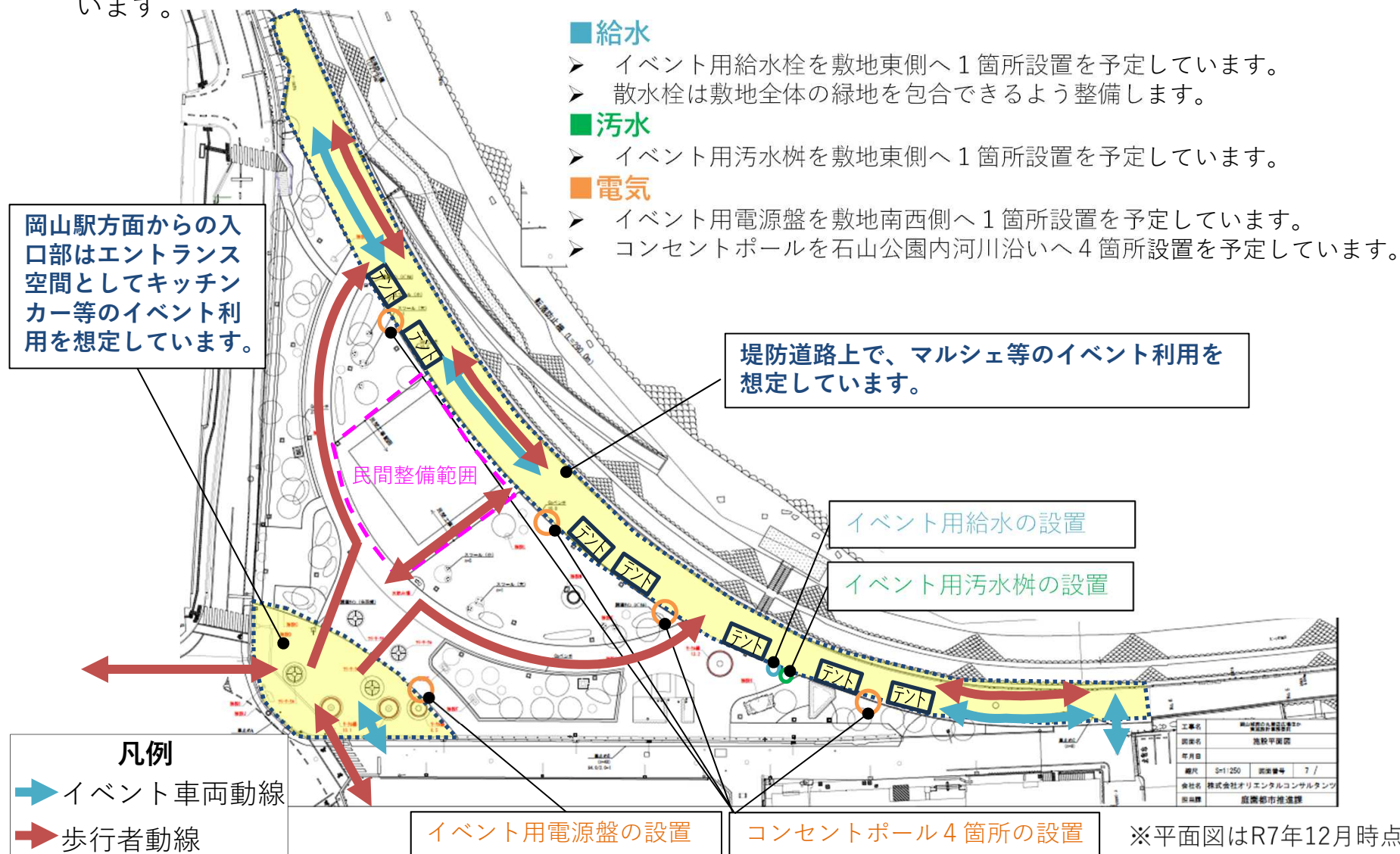
①と②の2種類の色調を使い分けることで周辺環境との調和を図りつつ、来訪者に新鮮な印象を与える空間を目指します。



3. 北エリア：設計内容

(5) イベント利用時の配置イメージ

- 堤防道路上でのマルシェ等の開催や、エントランス部分でのキッチンカー等のイベント利用を想定しています。

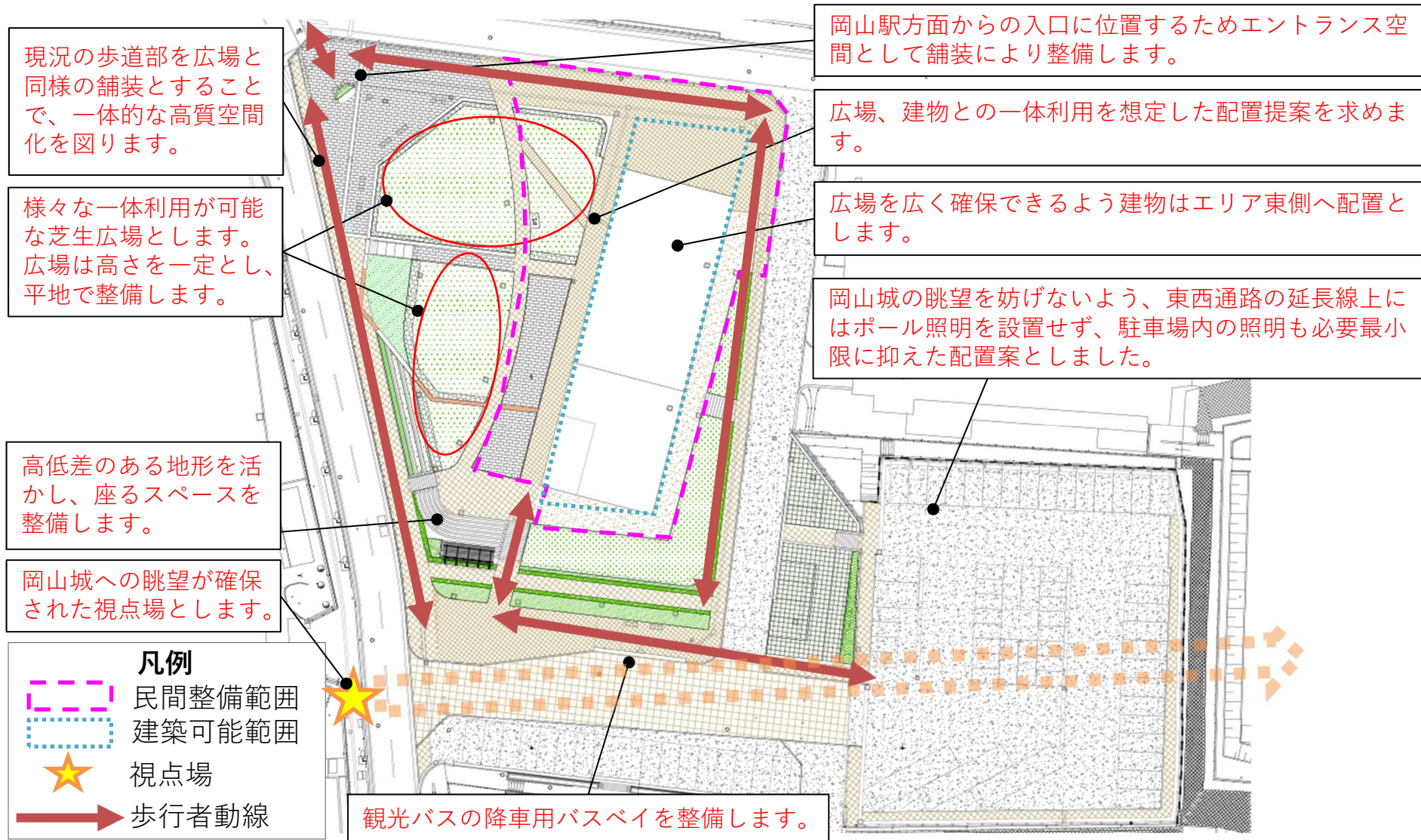


※平面図はR7年12月時点版

4. 中・東エリア：設計内容

(1) 平面レイアウトの考え方

- イベント利用も想定して開放的な広場を確保し、北エリアとの連続性や一体性にも配慮します。



※平面図はR7年12月時点版

4. 中・東エリア：設計内容

(2) 整備する施設について

➤ 整備する施設は以下のとおりです。

□：メモリアル部材

旧市民会館のモザイクガラス、中空ブロック、外壁タイルを活用し意匠を継承します。

落とし込みの車止めとすることで、様々なイベントに対応します。

旧市民会館ラインを継承しながら人の滞留を促すと共に道路への飛び出し防止のため、コンクリートベンチを設置します。



(受託業者撮影)

コンクリートベンチイメージ

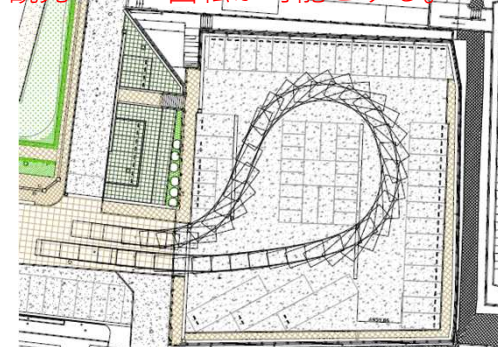
旧市民会館ラインを舗装や蛇かごにて表現します。

高低差のある地形を活かし、建物西側で想定される多様なイベントに呼応した観覧スペースを整備します。

岡山城への眺望を遮らない位置に、日陰を作るためのパーゴラと中木を配置します。

スムーズなバス利用を想定したバリアフリー縁石を設置します。

降車バス（バスベイ）で降ろした後、駐車場の場内で観光バスの回転が可能とする。



管理用車両
駐車場

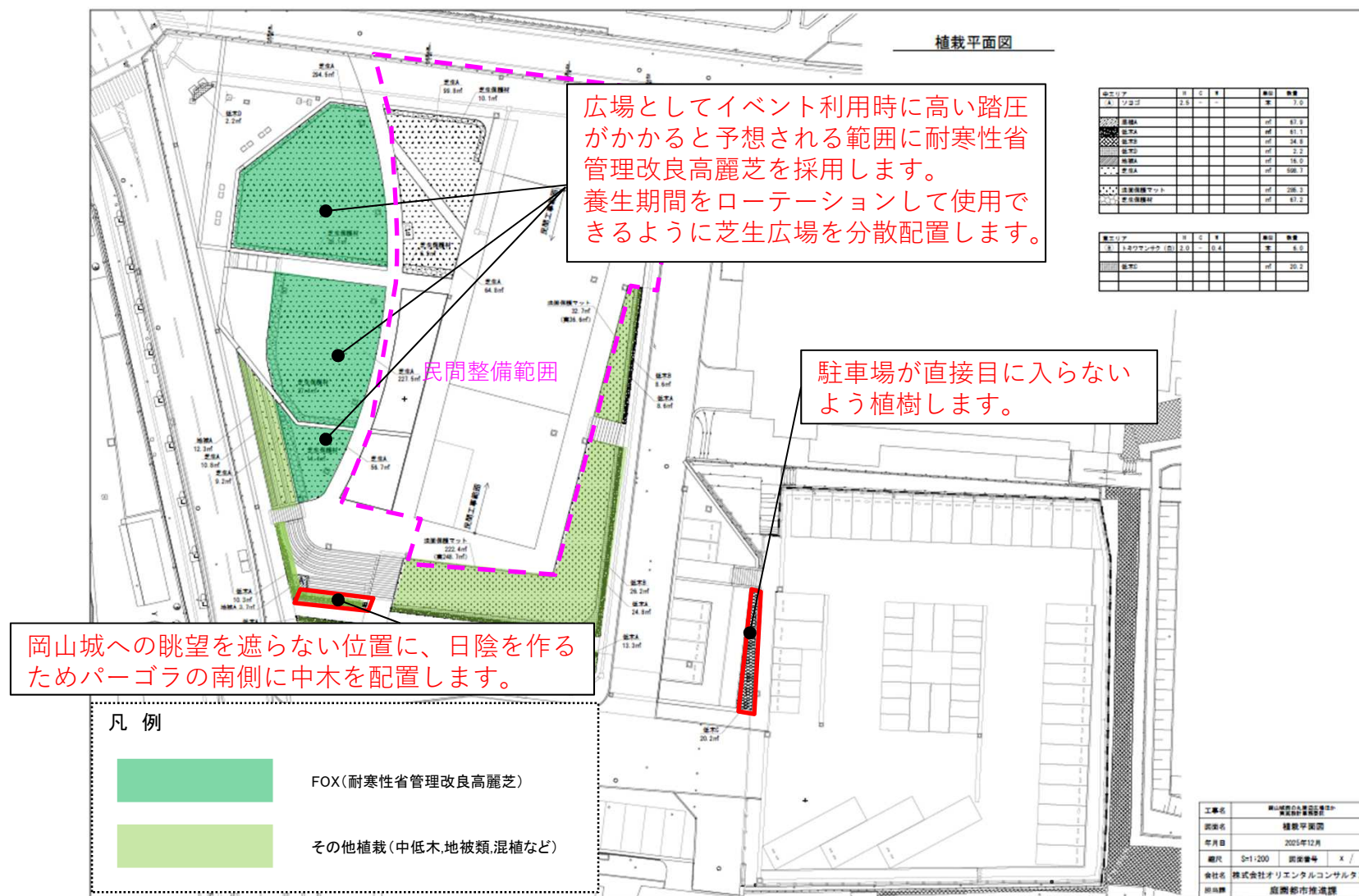
駐車場
(Park-PFIによる
必須提案)

二輪車駐輪場

4. 中・東エリア：設計内容

(3) 植栽の考え方

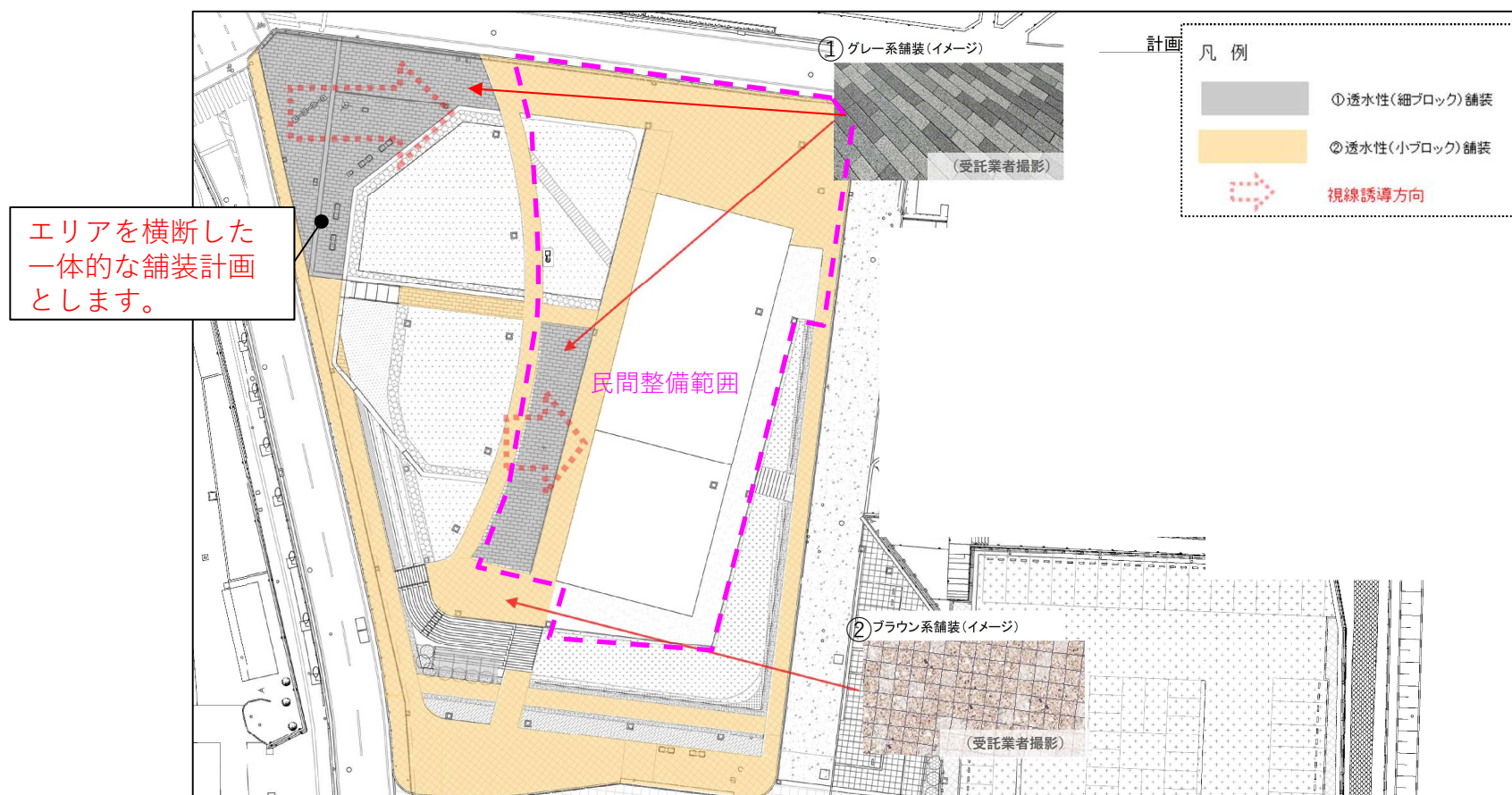
- 中長期的なまちづくりの展開を考慮し、高木の植栽は行わず、目隠しや日陰の中低木とイベント利用のための芝生広場を配置します。



4. 中・東エリア：設計内容

(4) 舗装の考え方

- 景観や維持管理性に加え、歩行性にも配慮した材料により、舗装を整備します。
- 雨水流出抑制対策のため、透水性舗装で整備します。（民間整備範囲外構部も同様の対応が必要です。）



本計画では、動線誘導と空間特性の明確化を目的に、長手部材と四角部材の舗装をエリアごとに使い分けを行いました。

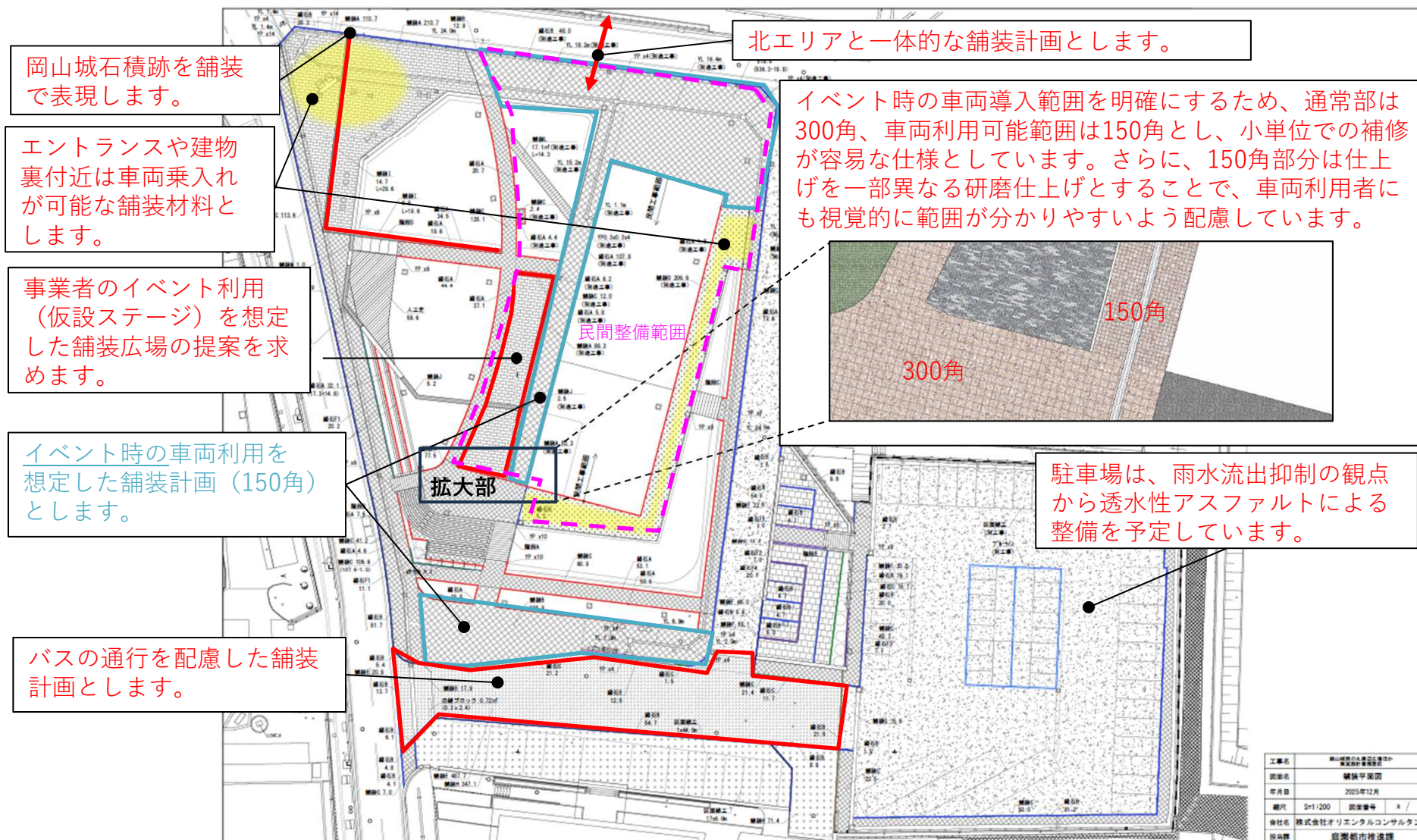
① エントランス部は、園内への流れを生み出し、都市景観としての方向性を示すため、ライン性のあるグレー系の長尺舗装を採用しました。

② 広場・園路は、方向性を持たせず自由な利用が可能となるよう、正方形の舗装とし、やわらかい印象を演出するためブラウン系（自然系舗装）を採用しました。

4. 中・東エリア：設計内容

(4) 舗装の考え方

- 景観や維持管理性に加え、歩行性にも配慮した材料により、舗装を整備します。



※平面図はR7年12月時点版

4. 中・東エリア：設計内容

(5) イベント利用時の配置イメージ

- 広場の他、舗装広場、常設のステージ（コンクリート台）でのイベント利用を想定しています。

